

気象とは…？

気象隊は航空機が安全に飛べるように、
天気に関する情報をパイロットに提供しています

365日24時間どんな高性能な戦闘機でも
天気が悪いと安全に飛ぶことはできません

気象隊は天気の状況や今後の予報をパイロットに提供することで
安全に飛べるよう支援をしています



気象のお仕事は何をするの？

- 天気の観測
- 天気の予報
- パイロットへの情報共有
- 気象レーダーの整備
- 災害時に特別な場所での観測

数学や理科が苦手でも問題ありません

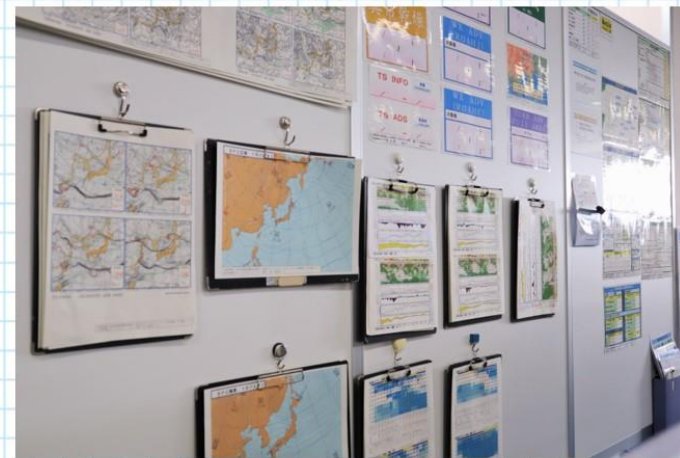
入隊後に基礎から学ぶことができます

部隊での経験を活かし

気象予報士を取得する人もいます

航空機の安全な運航を支える

やりがいのある仕事です



気象の隊員に聞いてみました！

気象のやりがいは何ですか？



気象情報は、航空機が安全に飛ぶために欠かせない情報です
日本の空を守っている航空機を操縦するパイロットに
気象情報を伝えることで、自衛隊の任務である“国防”に
携わっているというところにやりがいを感じています

気象のお仕事で大変なことは何ですか？



天気の悪い日は、分単位、秒単位で気象状況が変化します
観測員は天気の変化を見落とすことなくその情報を予報官に伝え
いつでもパイロットに提供できなければならないことが大変だと感じます
そのため、365日24時間連続で観測を行っており
特に夜間に仕事をする観測員は夜寝られないという点も大変なところ
ですが気象観測の仕事は交代制なので休息はしっかりとれます

気象観測員



ベテラン
気象観測員

